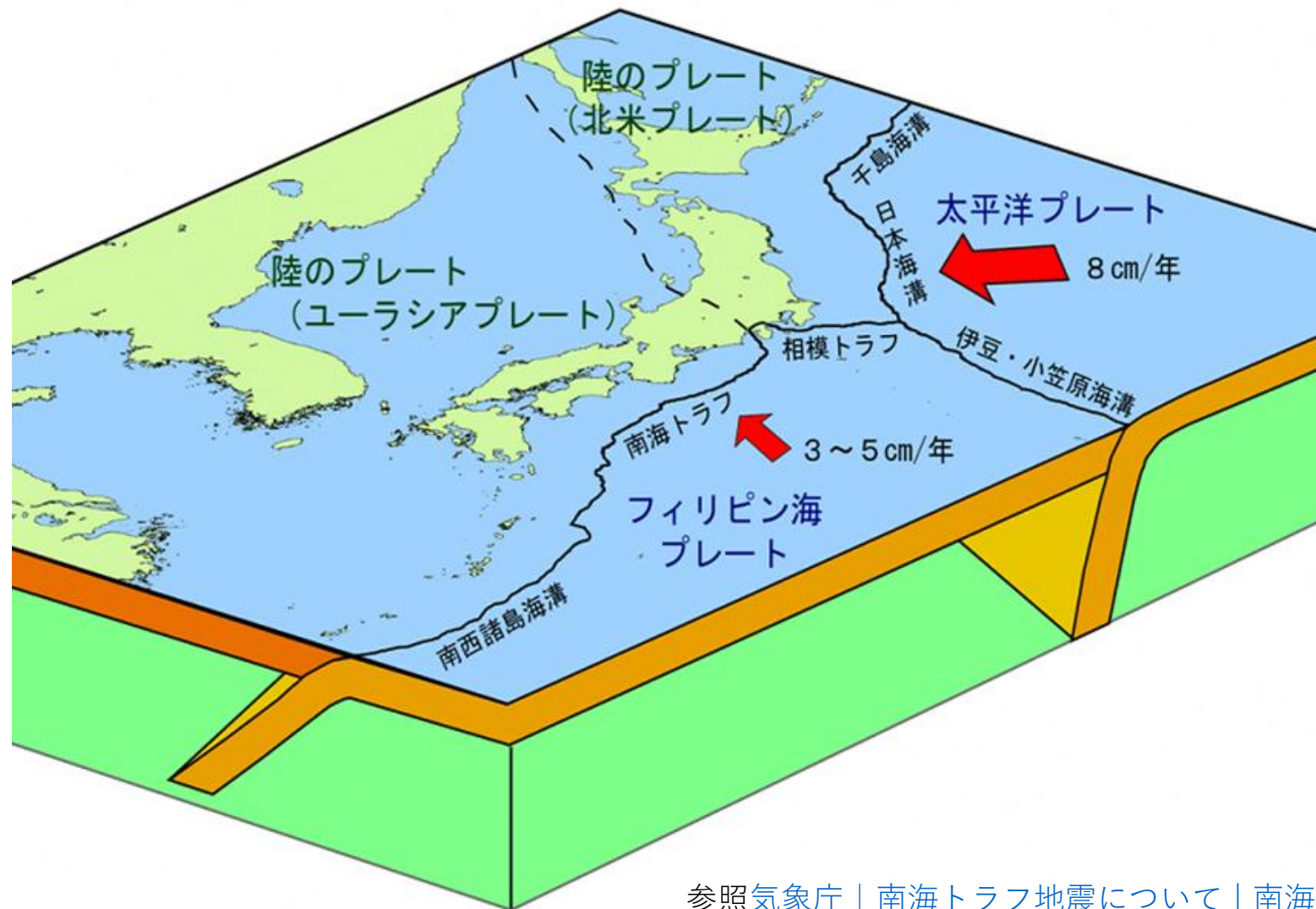


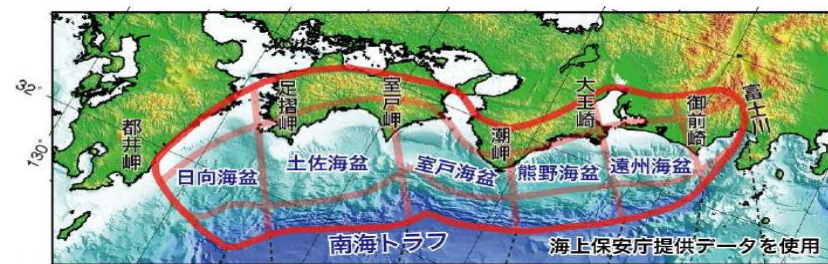
長崎県における 防災備蓄状況に ついて

聖和女子学院高等学校

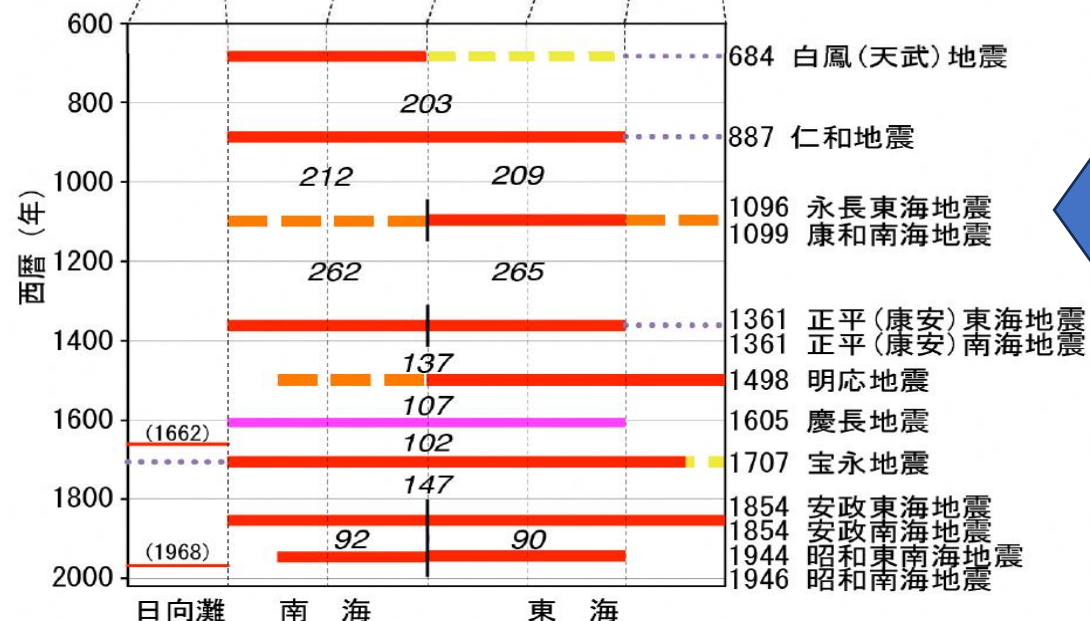
南海トラフ地震とは…？



南海トラフ地震の発生頻度



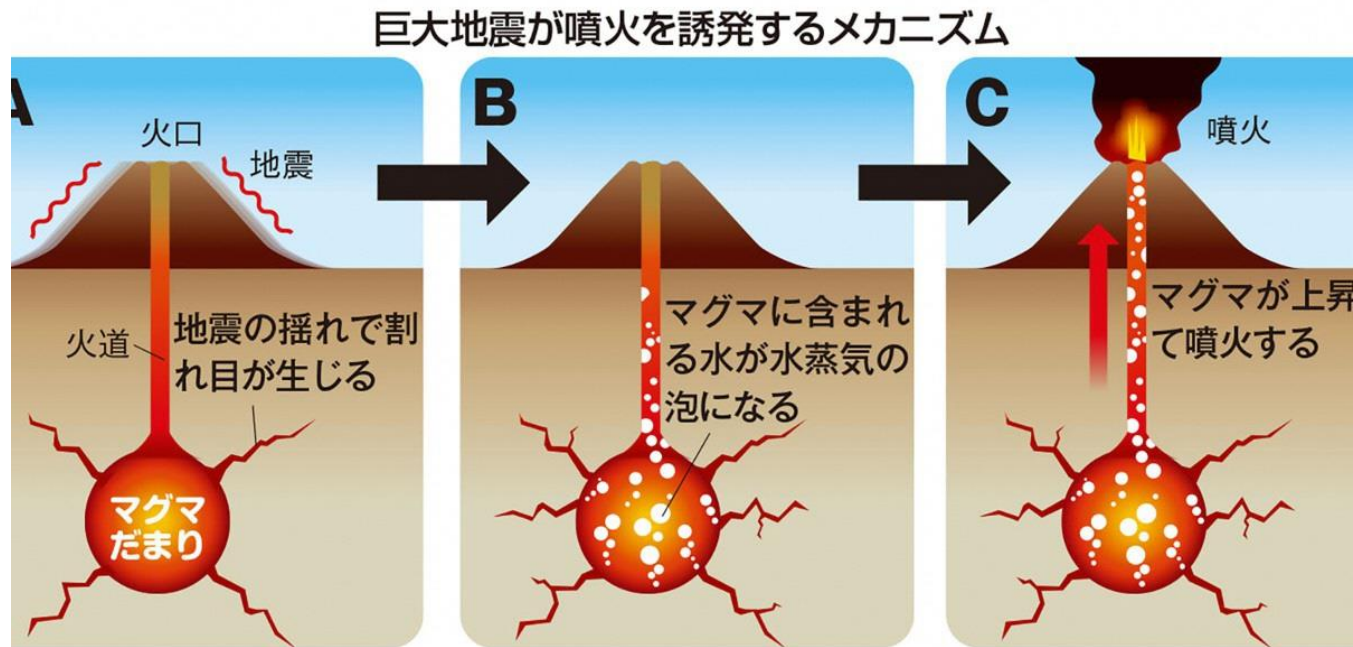
30年以内の発生率約70～80%！！
(国の地震調査委員会より)



- 確実な震源域
- 確実視されている震源域
- 可能性のある震源域
- 説がある震源域
- 津波地震の可能性が高い地震
- 日向灘のプレート間地震(M7クラス)

100年おきだが、
発生時間に幅がある！

南海トラフによる巨大地震が 雲仙岳噴火を引き起こす



(所)筆者作成

- 噴火による被害
- 火山性地震による被害

火山とプレートの関係

南海トラフ地震
30年以内の発生確率
約70~80%
(国の地震調査委員会より)



アンケートからわかった防災備蓄の現状

- ・避難所に指定されてされている学校が防災備蓄をしているとは言えない。
- ・備蓄している学校は主に水、缶詰、乾パン、毛布を備蓄している。
- ・資金が足りず、十分に防災備蓄品がない学校が多い。
- ・防災備蓄をしていても、量が足りていない。

備蓄している学校数

31校中 8校

アンケートからわかった防災備蓄の現状

- ・ 避難所に指定されてされている学校は防災備蓄をしているとは言えない。
- ・ 備蓄している学校は主に水、缶詰、乾パン、毛布を備蓄している。
- ・ 資金が足りず、十分に防災備蓄品がない学校が多い。
- ・ 防災備蓄をしていても、量が足りていない。

毛布	3校（市が準備）
水	4校
食料（3日以上）	2校
食料（3日以下）	2校
その他	2校

大人一人分（三日間）に必要な防災備蓄品

水	9 L
食料品	9 食（主食、副菜、栄養補助食品を含む）
簡易トイレ	1 5 セット
トイレットペーパー	3 ロール
常備薬	解熱鎮痛剤、総合感冒薬、軟膏、包帯、湿布（各一箱）
毛布	一枚
ラジオ	1 台
携帯用バッテリー	1 台
懐中電灯	1 台
電池	1 箱（1 0 本入り）

アンケートからわかった防災備蓄の現状

- ・避難所に指定されてされている学校は防災備蓄をしているとは言えない。
- ・備蓄している学校は主に水、缶詰、乾パン、毛布を備蓄している。
- ・独自で備蓄しようにも資金が足りず十分に防災備蓄品がない学校が多い。

3 1 校中

2 9 校

現状は、
防災備蓄をしていても
量が足りていない

備蓄品があっても**備蓄倉庫**が
確保できない

避難場所と避難所の違い

- **避難場所**…災害から身を守るため
一時的に逃げ込む先
- **避難所**…災害のため自宅で過ごす
ことが困難となった時、
一定の期間、避難生活をする場所



A large orange circle is positioned on the left side of the slide, partially overlapping the text area.

私たちが考 えた提案

・県からそれぞれの市区町村に補助金を出し、それぞれの学校で防災備蓄品を備えておく必要があるのではないか。

A yellow dashed line is located in the bottom right corner of the slide, consisting of several short, curved segments.

私たちが考 えた提案

- ・県立高校・私立の学校は資金が足りていない
 - 学校によって備蓄品の充実さが異なっている。
 - 県立高校・私立の学校に関しては県のカバーが必要ではないか。

佐世保市では

佐世保市のHPによると、
住民が避難に行く際、各自が防災備蓄品を持っていかなければならない。

→避難所が備蓄しておく必要があると考える。



ご清聴ありがとうございました。